

あ お も り 町村 自治

2026 7 No.1251
令和 8 年 年 4 回 発行

編集・発行 青森県町村会

〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号 TEL. 017-723-1331 FAX. 017-723-1347

HP <https://www.aomori-chousonkai.jp/>

【特集】「大正時代の美が宿る、中泊町へ」…… 2

令和 9 年度
重点施策提案に係る意見交換会 …………… 4

人物試験評価者講習…………… 8

いまが旬！……………10

エッセイ 外ヶ浜町長 山崎 結子 氏……………14



むつ湾フェリー新船「かけはし」就航

そと が はままち
外ヶ浜町

津軽半島と下北半島を結ぶ新船「かけはし」が本年4月に就航しました。

総工費約22億円、ゆとりのあるシートのほか、今回新たにバリアフリー対応としてエレベーター、キッズスペース、屋外にはウッドデッキなどが設けられ、むつ湾クルーズを快適に楽しむことができます。

青森の人を、旅を、感動をつなぐ新船に、是非、乗船してみませんか。



大英博物館所蔵品と対をなす春景花鳥図

大正時代の美が宿る、 中泊町へ

いま、全国から注目を集めている中泊町・宮越家。今年2月に庭園「静川園」が国指定名勝となり、離れの襖絵は今夏、大英博物館・シアトル美術館の名品と150年ぶりに東京で再会します。



十三湊の景観を描く円窓のステンドグラス

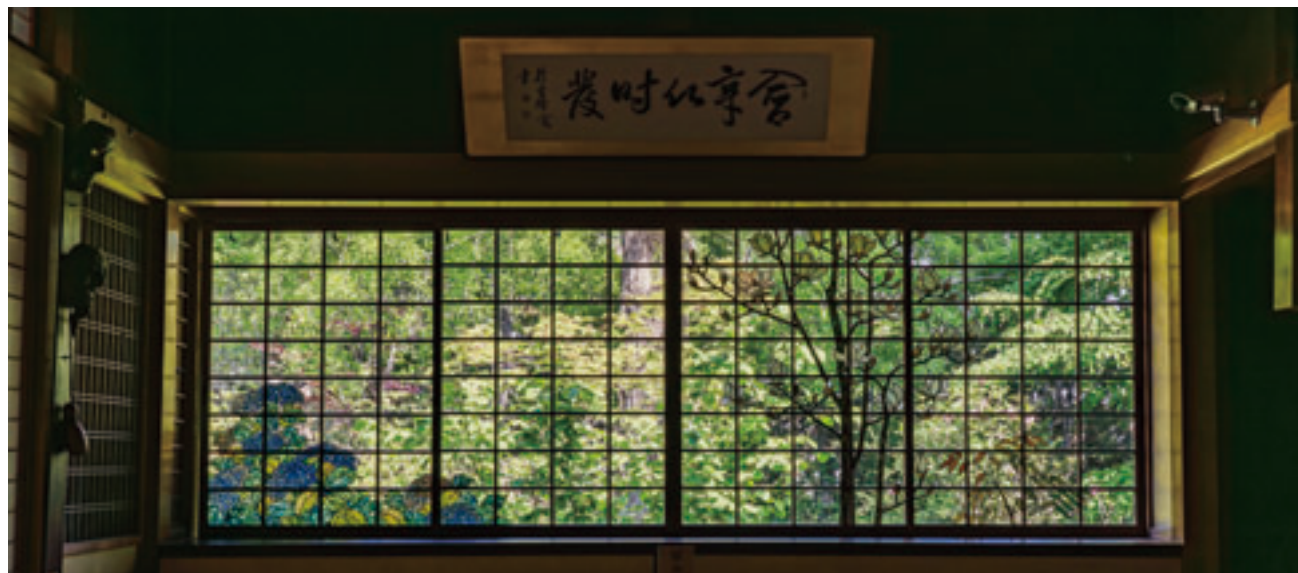
国の名勝になった「**静川園**」
せいせんえん

中泊町の宮越家庭園「静川園」が、今年2月17日に国指定名勝となりました。青森県内では9件目、本州最北の国指定名勝庭園です。大石武学流庭園・枯山水・池泉回遊式の3種類からなる庭は、座って眺める部分と歩いて巡る部分を兼ね備えています。

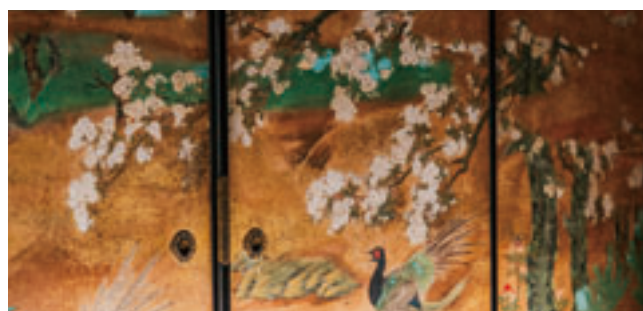
同町文化観光交流協会の山田事務局長は「文化庁の調査担当者がこの縁側に座ったまま動かなくなり、『白沙村荘と並び立つ静川園』と仰ってくれた」と振り返ります。京都東山の国指定名勝「白沙村荘」を造った日本画家・橋本閑雪と9代当主・宮越正治の間には70通もの手紙が残っており、似た世界観が静川園にも見られるようです。

離れに残るステンドグラス

静川園内にある離れ「詩夢庵」の窓を飾るのは、大正から昭和初期に活躍したステンドグラス作家・小川三知の作品。「四季花木障子」は窓の向こうの庭を借景とし、変化する自然と一体となる粋なデザインです。



四季の花木と庭が一体となる四季花木障子



明治前期に造られた大石武学流庭園

今回の国指定には、このステンドグラス越しに見る横庭も含まれました。また円窓には十三湯の景観が描かれ、光を通すと湖面が動いているかのように輝きます。

調べるほど深まる、

宮越家の価値

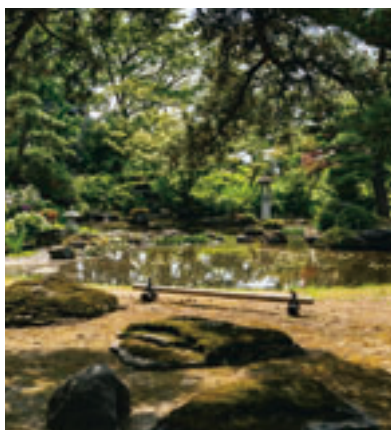
「私が来た頃は、大石武学流庭園を手掛けた宗家が誰かわからなかった。8代目・要三郎の手紙からようやく高橋亭山の存在が明らかになった。調べればまだまだ新しい発見があるはず」と山田事務局長。2024年秋の調査で、詩夢庵の「春景花鳥図」が大英博物館所蔵「秋冬花鳥図」と対をなす一連の狩野派作品であることが判明。今年7月から東京都美術館で開かれる「大英博物館日本美術コレクション」展では、宮越家・大英博物館・シアトル美術館それぞれが所蔵する襖絵3点が、約150年ぶりに一堂に展示されます。

誇りを持って地域を伝える

国指定後初のボランティアガイド

勉強会に集まった一人は「北海道や九州から足を運んで来られた方が、襖絵の前で感動されている。その姿を見ると誇りに思います」と笑顔。宮越家が長年守り続けてきたおかげで、建物も襖絵も良好な状態が保たれています。

山田事務局長は「これだけのものが、弘前でも八戸でもない、北津軽のこの地にあった。それを今後も残し伝えていきたい」と語りました。秋の一般公開は9月25日から11月1日まで（完全予約制・シャトルバス利用）。



本州最北の国指定名勝庭園・静川園

お問い合わせ

一般社団法人

中泊町文化観光交流協会

TEL 0173-15719030

人口減少・地域医療・自治体DXなどで意見交換

令和9年度重点施策提案に係る意見交換会

県・市長会・町村会3団体合同



本会は、県、市長会との3団体合同で、6月13日、青森市のアップルパレス青森で「令和9年度重点施策提案に係る意見交換会」を開催した。従来の重点施策説明会を見直し、国会議員との意見交換を重視した形で実施したもので、本会からは濱館会長をはじめ役員町村長が出席した。

人口減少対策や専門人材の確保、地域医療、地域公共交通の維持など町村が抱える課題について、県関係国会議員と活発な意見交換を行った。

会場には津島淳衆議院議員、

席した。

神田潤一衆議院議員、木村次郎衆議院議員、田名部匡代参議院議員、福士珠美参議院議員、山中泉参議院議員のほか、代理として国会議員秘書が出

本会からは濱館会長、富岡副会長、山崎副会長をはじめ役員町村長11人が出席したほか、県から宮下知事、小谷副知事、奥田副知事、風張教育

地域医療など地方が直面する課題の解決に向け、重点施策提案の実現について、国の支援を求めた。

意見交換では、議員から、医師不足について、「地域の実態と国の政策の方向性が一致しているのか」と問題提起されたうえで、自治体との意見交換を通じて、必要な支援策を検討していきたいとの考えが示された。また、人口減少問題について、「危機の重さを共通認識として持たなければならぬ」と、国も議論を進めていることが述べられた。さらに、若者の県内定着に向けた働き方改革や女性が



国会議員と意見交換する濱館会長

長、県市長会から西会長（青森市長）をはじめ各市長ら約70人が出席した。はじめに、宮下知事、西市長会会長、濱館本会会長が、主催者を代表してあいさつし、人口減少や災害対応、

本会重点施策の説明項目

1. 町村財政基盤の確立について(3団体共通提案項目)
2. 地方創生・人口減少対策に向けた支援について(3団体共通提案項目)
3. 医療・保健・福祉・子育て支援施策の強力な推進について
4. 農林水産業の振興について
5. 社会基盤の整備促進について
6. 持続可能な地域公共交通の確保・維持について
7. デジタル化施策の推進について

働きやすい環境づくりの重要性にも言及し、地域課題の解決に向けて国と地方が連携して取り組む考えが示された。

これに対し、濱館会長からは、町村部では医師確保が極めて困難な状況にあることや、介護認定業務を担う人材ですら不足している現状などを説明し、消防やごみ処理、教育など、広域連携の推進を求めた。また、津軽線廃止後の交通確保に向けた取組や、地域公共交通を支える人材育成事業も紹介し、持続可能な地域づくりに向けた支援の必要性を訴えた。

さらに、国が推進する「自治体DX」の柱として進めら

れている基幹20業務の標準準拠システム移行について、「標準化すれば経費が減ると言われてきたが、実際には〃移行費用〃と〃クラウド利用料〃が新たに発生し、自治体の負担はむしろ増えている」と述べ、対応策として県内共通のデータ処理センターの設置を提案した。

会議ではこのほか、地方創生、農林水産業の振興、社会基盤整備、防災対策など幅広い課題について意見交換を行い、出席者は地域の実情を踏まえた施策の実現に向けて、国と地方が連携して取り組む必要性を共有した。

国への重点施策

提案事項等を決定

役員合同会議

本会は5月15日、青森市のホテル青森で令和8年正副会長・理事・監事・政務調査委員長・顧問合同会議を開催した。出席者は、濱館会長はじめ役員町村長13人。

会議では、2件の報告事項と、6月13日に県、市長会と3団体合同で実施する令和9年度重点施策提案に係る意見交換会等での本会からの提案事項と令和8年度町村長行政調査研修について協議し、原案どおり承認、決定した。

議事

○報告第1号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件(令和8年専決第1号) 青森県町村会処務規程の一部を改正する規程)
○報告第2号 専決処分した



協議事項

(1) 令和9年度重点施策提案に係る意見交換会等について

(2) 令和8年度町村長行政調査研修について

◎令和9年度政府予算編成及び施策に関する提案

- 1 町村財政基盤の確立について(3団体共通提案項目)
- 2 地方創生・人口減少対策に向けた支援について(3団体共通提案項目)
- 3 医療・保健・福祉・子育て支援施策の強力な推進について
- (1) 地域医療の確保・充実について
- (2) 総合的な子育て支援について
- 4 農林水産業の振興について
- 5 社会基盤の整備促進について
- (1) 防災・減災対策等の強化について
- (2) 道路の整備等について
- (3) 治水対策について
- 6 持続可能な地域公共交通の確保・維持について
- 7 デジタル化施策の推進について

町村長選挙結果

藤崎町長

とちない
榎内 伸治氏



前町長の辞職に伴う藤崎町長選挙は、4月12日、投票票が行われ、新人の榎内伸治氏(52)が初当選を果たしました。
(略歴) 町議会議員

佐井村長

おおた
太田 直樹氏



任期満了に伴う佐井村長選挙は、4月14日、告示され、現職の太田直樹氏(50)が無投票で2選を果たしました。
(略歴) 村議会議員

市町村自治研修会を開催します

青森県市長会及び青森県町村会では、令和8年7月28日(火)、アップルパレス青森において「令和8年度市町村自治研修会」を開催します。本研修会では、総務省自治行政局市町村課長 浦上哲朗氏による「広域連携について」、埼玉県町村会情報システム共同化推進室長 本山政志氏による「2040年を見据えた自治体DX推進の必要性和機運醸成」をテーマとした講演を予定しています。

関係職員の皆様のご参加をお願いいたします。

【日時】令和8年7月28日(火) 13時10分～15時30分

【会場】アップルパレス青森(青森市)

青森県町村長等名簿

令和8年7月1日現在
町村数30町村(22町8村)

区 分		町 村 長 氏 名		生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長氏名	
東郡	平内町	船橋茂久		S24. 7.17	4	R 9.11.14	山田光昭	
	今別町	阿部義治		S25. 9.18	2	R 8. 7.23		
	外ヶ浜町	山崎結子		S56. 6.21	3	R11. 4.23	登坂光春	
	蓬田村	八戸慎幸		S49. 3. 8	1	R11.11. 8		
西郡	鰺ヶ沢町	平田衛		S34.11. 1	3	R11.12.26	加藤隆之	
	深浦町	平沢一臣		S49. 9.21	1	R10.12.20	佐藤洋一	
中郡	西目屋村	桑田豊昭		S32. 1.11	2	R11. 2.20		
南郡	藤崎町	榎内伸治		S49. 1.29	1	R12. 4.11	三上孝之	
	大鰐町	山田年伸		S27. 3.11	4	R 8. 7.21		
	田舎館村	品川新一		S27. 2.21	1	R10.11.17	金枝尚明	
北郡	板柳町	葛西健人		S34. 7.18	1	R 9. 4.29	長内伸夫	
	鶴田町	相川正光		S28.10.29	3	R 8. 8.20		
	中泊町	濱館豊光		S34.10. 3	3	R11. 4.23	三上晃瑠	
上北郡	野辺地町	野村秀雄		S38. 4.15	2	R 9.10.26	江刺家和夫	
	七戸町	田嶋邦貴		S36. 7.29	1	R11. 4.23	仁和圭昭	
	六戸町	佐藤陽大		S48.11. 4	1	R10. 1.27	円子富浩	
	横浜町	石橋勝大		S16. 9.27	2	R10.12.11	菊池義規	
	東北町	長久保耕治		S47.11.14	2	R11. 4.23	沼尾啓吉	
	おいらせ町	成田光寿		S41. 9. 6	1	R12. 3.25	齋藤直樹	
	六ヶ所村	橋本隆春		S32. 4.30	1	R12. 2.14	種市誠	
下北郡	大間町	野崎尚文		S30.11.17	2	R11. 1.18		
	東通村	畑中稔朗		S37. 7.14	2	R11. 4.12		
	風間浦村	富岡宏		S37. 4.27	3	R11. 2.18		
	佐井村	太田直樹		S50. 7.14	2	R12. 4.26	田名部二郎	
三戸郡	三戸町	沼澤修二		S42. 4.25	1	R10.11.16	本宿貴一	
	五戸町	若宮佳一		S41.12.30	2	R 9. 6.26		
	田子町	山本晴美		S39. 4.10	4	R10. 1.14	福田博実	
	南部町	工藤祐直		S30. 5.22	8	R12. 2.11	久保田敏彦	
	階上町	荒谷憲輝		S45. 4.24	2	R11.12.23	澤田充	
	新郷村	佐藤和友		S43. 9.18	1	R11. 5.28	横田堅悦	

総務厚生・産業経済 両委員会を開催

県主要施策の説明を受ける

課の平尾課長から「町村における行財政に係る課題等について」と題し、県内市町村財政の状況や令和8年度地方財政計画の概要、行政改革（自治体DX）の推進などについて説明があった。

また、県健康医療福祉部の秋野部長からは、医師偏在対策やオンライン診療の推進、高齢者福祉施策の推進、介護人材の確保など8年度の主要施策について説明があった。

さらに、県こども家庭部の細谷部長からは、本県における人口減少・少子化の現状を踏まえ、「こども子育て『青森モデル』」や、結婚・妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援、若者の県内定着・還流促進などについて説明があった。

質疑応答では、職員確保対策や診療所の承継、開業支援や医療・福祉職の子育て世帯のための移住支援事業などについて活発な意見交換が行われた。

総務厚生委員会

総務厚生委員会には、富岡委員長をはじめ14人が出席した。

委員会は富岡委員長のあいさつの後、任期途中の欠員補充に伴う副委員長の選任を行い、石橋横浜町長を副委員長に選任した。

引き続き、県財務部市町村

委員長をはじめ14人が出席した。

委員会は山田委員長のあいさつの後、県農林水産部の相馬次長から、「『農林水産力』強化パッケージ」の概要や豪雪による農業被害への復旧支援について説明があり、所得を上げるための生産者の経営改善支援、産業を守るための戦略の推進、企業等との連携次代を支えるための人材確保・育成、食料を安定供給するための環境変化への対応などについて説明があった。

また、県経済産業部の工藤次長からは「GX青森」の推進や金融機関と連携したスタートアップ支援等、消費喚起を通じた地域経済の活性化と賃上げ環境の整備について説明があった。

さらに、県観光交流推進部の工藤部長からは持続可能な観光の確立、観光消費額の拡大、連泊の推進などについて説明があった。

質疑応答では、果樹振興や鳥獣被害対策、物価高騰への対応、中小企業支援などについて活発な意見交換が行われた。

産業経済委員会

産業経済委員会には、山田

本会に事務局を 置く各団体役員 名簿

(令和8年7月1日現在)

青森県広報広聴協議会 (会員数11県・40市町村)

会長

濱館 豊光(中泊町長)

副会長

西 秀記(青森市長)
三浦 猛史(県総務部長)

理事

谷川 政人(弘前市長)
熊谷 雄一(八戸市長)
高樋 憲(黒石市長)
佐々木 孝昌(五所川原市長)
櫻田 百合子(十和田市長)
山本 知也(むつ市長)
倉光 弘昭(つがる市長)
工藤 貴弘(平川市長)
阿部 義治(今別町長)
相川 正義(光鶴町長)
山田 年正(大鰐町長)
長久保 耕治(東北町長)
野崎 尚文(大間町長)
若宮 佳一(五戸町長)

全国山村過疎地域振興 連盟青森県支部 (会員数1132市町村)

支部長

山田 年正(大鰐町長)

副支部長

(過疎地域対策部会長兼任)
富岡 宏(風間浦村長)

理事

佐々木 孝昌(五所川原市長)
工藤 貴弘(平川市長)
八戸 慎幸(蓬田村長)
桑田 豊昭(西目屋村長)
葛西 健人(板柳町長)
濱館 豊光(中泊町長)
石橋 勝大(横浜町長)
富岡 宏(風間浦村長)
太田 直樹(佐井村長)
沼澤 修二(三戸町長)
山本 晴美(田子村長)

発電関係市町村全国 協議会青森県支部 (会員数118市町村)

支部長

平田 衛(鯉ヶ沢町長)

副支部長

桑田 豊昭(西目屋村長)

青森県町村会内部団体 協議会共通監事

小檜山 吉紀(三沢市長)
佐藤 陽大(六戸町長)
品川 新一(田舎館村長)

効果的な面接試験とは

人物試験評価者講習



本会は県市長会との共催により、6月29日、ホテル青森で人物試験評価者講習を開催した。出席者は市町村の人事担当管理職員等26人。講師には、公益財団法人日本人事試験

験研究センターの鈴木利男氏を迎えた。

研修会では本会の檜山常務理事のあいさつ後、鈴木氏が講演した。鈴木氏は、採用試験において人物重視の傾向が高まる中、面接試験の特徴や問題点を確認したうえで、質問や課題について説明した。特に近年、受験生はAIを活用し面接試験の事前準備をしっかりと行っていることから、



講師を務めた日本人事試験研究センターの鈴木氏

ら、受験生自身の具体的な経験を引き出すための質問方法について実例を交えながら説明があった。

研修では、映像教材を用い、受験生の評定練習を行った。また、受講生をグループに分けて模擬面接を実施した。

研修後のアンケートでは、「基本的な取組方から実践的な内容まで、分かりやすく解説いただいた」「基本質問のポイントや評価方法が分かりやすく、今後の面接に活かしたい」「コンピテンシーを意識した質問展開が重要だと知ることができた」との声が寄せられた。

各共済事業に理解と協力を

災害共済事業等事務研修打合会

本会は6月17日、青森市のウェディングプラザアラスカで災害共済事業等事務研修打合会を開催した。出席者は市町村及び一部事務組合等の事務担当者約80名。

打合会は、新年度を迎え、各団体の担当者が異動となること等を踏まえて、共済事業の担当者へ共済事業への理解を深めてもらうことを目的に例年開催しているもの。

打合会では、任意共済事業及び個人年金共済事業の幹事会社である日本生命保険相互会社より両事業の概要について説明があった。また、総合賠償補償保険及び災害対策費用保険など、概要動画を視聴した。

引き続き、本会事務局からは自治協会、町村生協の各共済事業の概要をはじめ、自動車事故処理並びに共済金請求の際の事務手続き等について説明したほか、自動車共済専属調査員事務所である株式会

社ジックの専属調査員からは、自動車事故時の対応について説明があった。

また会議では、令和7年度に引き続き行う、生協火災・自動車共済の新規加入キャンペーンについて、担当者に協力を呼びかけた。



広報紙の価値と

情報発信のポイント

広報広聴担当者研修会



本会に事務局を置く県広報広聴協議会は、例年、県市長会、本会との共催により、市町村の広報広聴担当職員としての知識及び技術の向上を図ることを目的に、県市町村広報広聴担当者研修会を開催している。

本年度は、6月23日、青森市のホテル青森で開催し、出席者は市町村の広報広聴担当者45人。



■広報コンクール入賞団体を表彰

研修に先立ち、令和8年県広報コンクール表彰式を行い、各部門で優秀な成績を修めた団体に対し表彰状を授与した。

■県広報広聴課・県民に「伝える」広報、県民の声を県政に反映させる広聴

引き続き、県広報広聴課工藤副参事、玉熊副参事が登壇。県広報広聴課の施策について説明した。今年度は重点広報テーマを設定し、広報紙やテレビ、新聞、ラジオ、SNSなど複数の媒体を組み合わせた「メディアミックス」により、集中的・重層的な情報発信に取り組むことを紹介した。また、「AOMORI MAG」や新聞テレビ欄を利用したトピック広報など、県民に分か

りやすく情報を届けるための取組について説明した。このほか、公益通報者保護法の改正概要や、市町村に求められる対応についても解説があった。

■「まちへの愛着を育む広報とは」

研修では、合同会社LOCUS B R i D G E 共同代表で株式会社パブリシント代表取締役の林博司氏が、「広報紙の価値と情報発信のポイント」と題して講演した。

林氏は、自身の自治体職員としての経験を踏まえ、SNSなど情報発信手段が多様化する中でも広報紙は行政と住民をつなぐ重要な媒体であると説明。「アリバイ広報になっていないか」「自分が読み手ならどう感じるか」といった視点を持ち、住民の行動変容につながる広報を意識することが重要であると述べた。また、行政情報を伝えるだけでなく、地域への愛着や誇りを育むことも広報紙の大切な役割であるとし、実際の事例を交えながら、住民目線に立った企画づくりや効果的な

情報発信の方法について解説した。

研修後のア

ンケートでは、「広報紙の価値を改めて認識することができた」「住民目線で情報を伝えること

の重要性を再認識した」「実践的内容で、今後の広報紙

作成に生かしたい」などの声が寄せられた。



講師の林博司氏が「広報紙の価値と情報発信のポイント」と題して講演

町村会ホームページリニューアルのお知らせ



リニューアル日
令和8年6月1日（月）

URLの変更
変更後
<https://www.aomori-chousonkai.jp/>

一定期間は、旧URLにアクセスいただきましても自動的に新URLに転送されますが、「お気に入り」「ブックマーク」等にご登録いただいている方は、新しいアドレスで登録し直していただきますようお願いいたします。



問い合わせ先 蓬田村観光協会
TEL 0174-27-2450

蓬田村の夏を彩る「玉松海まつり」が、8月2日（日）に開催予定です！砂浜での宝探しや〇×クイズ、水風船を使った恒例の“爆弾ゲーム”のほか、ホタテの振る舞いやキッチンカーも登場。海辺で楽しめるサウナカーやクラシックカー展示も予定されており、子どもから大人まで楽しめる蓬田村の夏の恒例イベントです！夏の蓬田村をぜひお楽しみください。
※天候等により、内容が変更になる場合があります。

海辺で楽しむ玉松海まつり

いまが旬!
よもぎたむら
蓬田村
東津軽郡



問い合わせ先 鶴田町役場 商工観光課
TEL 0173-22-2111

鶴の舞橋は全長300mで日本一長い木造三連太鼓橋であり、平成6年に富士見湖パーク内に架けられました。経年劣化が進行したため、令和5年度より改修工事に着工し、本年3月に完成しました！ぜひ新しくなった鶴の舞橋を見に来てください。つるたまつり期間の8月16日には、7年振りに湖で花火を打ち上げる予定です。

改修工事完了！
きれいになった鶴の舞橋

いまが旬!
つるたまち
鶴田町
北津軽郡



問い合わせ先 中泊町役場 水産商工観光課
TEL 0173-57-2111

災害時の避難所機能、平時の宿泊機能を両立させた「中泊町トレーラーハウスホテル」（湯らばーくキャビン）がオープンしました。町の温泉施設「湯らばーく」の駐車場に3台設置され、専用サイトからご予約できます。町を観光して夜は温泉でリフレッシュ！中泊町を満喫してはいかがでしょうか？

中泊町の温泉施設内にトレーラーハウスホテルがオープン！

いまが旬!
なかどまりまち
中泊町
北津軽郡



問い合わせ先 六戸町観光協会
(六戸町役場 まちづくり推進課内)
TEL 0176-55-2411

六戸の祭りの見所は大きく3つあります。1つ目は六戸自慢の豪華な山車です。祭りの要として作り手の思いが詰まった渾身の山車は傑作です。2つ目は各町内会に受け継がれた独自のお囃子と大太鼓です。それぞれがもつ個性があり、まつりを華やかに彩ってくれます。3つ目はなんと言っても仮装行列です。毎年工夫を凝らし、エンターテインメント満載な仮装は一押しです。

六戸秋まつり
(9月4日～6日)

いまが旬!
ろくのへまち
六戸町
上北郡

いまが旬!

おいらせ町

上北郡

おいらせ町

話題の進化系おつまみは、
おいらせ町生まれ

SNS等で「酒飲みのためのグミ」と話題になった日本ハムの「乾燥させた生ハム」をご存知ですか?凝縮された旨味と食感がクセになるこの逸品、実はそのすべてがおいらせ町の工場で作られているんです。

全国のコンビニやスーパーに並んでいますので、おいらせ町の新たな特産品を是非食べてみてください!



問い合わせ先 おいらせ町役場 産業課
TEL 0178-56-4703

いまが旬!

六ヶ所村

上北郡

六ヶ所村

8/22開催!大迫力の花火と盆踊り
で六ヶ所村の夏を体感しよう!

六ヶ所村の夏を満喫できる風物詩として、新たなイベントが誕生しました。尾駈沼の水面に浮かぶ2,000発を超える打ち上げ花火と村内の様々な団体が世代を超えて大集合。さらにスペシャルゲストが会場を盛り上げます。おいしいグルメや花火と盆踊りを楽しみながら、熱気あふれる最高の夜を一緒に楽しみましょう。皆さまのご来場をお待ちしております。



問い合わせ先 一般社団法人六ヶ所村観光協会
TEL 0175-71-3115

いまが旬!

東通村

下北郡

東通村

「灯台ワールドサミットin東通」灯台2.0
灯台が人と地域を導く時代へ

今年点灯150周年を迎える尻屋埼灯台で、7月11・12日に「灯台ワールドサミットin東通」を開催。記念式典やシンポジウム、灯台マルシェに加え、勇壮な祝舞披露などイベント盛りだくさん。

寒立馬や絶景の自然とともに、「灯台2.0」が生み出す新しい灯台の楽しみ方を東通村から発信します!

4~11月まで、尻屋埼灯台の参観をおこなっています。

150周年の灯台に、遊びにきてください♪



問い合わせ先 東通村役場 商工観光課
TEL 0175-33-2125

●お知らせとお願い

「あおもり町村自治」は、会務活動状況及び災害共済諸事業の啓発事項、県市町村総合事務組合及び内部団体の活動状況のほか、町村長の紹介及び各町村の特集記事等を掲載し、3カ月に1回季刊発行しています。

本ページの「町村トピックス いまが旬!」は、各町村の時期、季節の旬の情報をPRするコーナーで、イベント、観光スポット、施設、特産品、町の話・出来事などが満載!

各町村で、本紙への掲載希望事項等がありましたらご連絡ください。また、表紙写真や関連記事等掲載依頼の際は、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和8年度

保健師インターンシップ 参加者募集



青森県内町村で保健師の仕事を体験しよう！

県内町村へ保健師として就職することを検討している学生が
インターンシップ参加のために要した交通費及び宿泊費を
支援します。

こんな方におすすめ

- ・地域の仕事に興味がある
- ・職業体験してみたい
- ・保健師の仕事が気になる

対象

県内町村へ保健師として就職することを検討する、
県内看護系大学の看護学科に在籍する学生

対象経費

県内町村で実施される保健師インターンシップ
参加のために要した交通費及び宿泊費

金額

本会旅費規程に基づく



【問い合わせ先】

青森県町村会
業務共済課

TEL:017-723-1331
E-mail:ack-2@aomori-chousonkai.jp





町村生協の自動車共済

**新規加入
キャンペーン実施中!**

キャンペーン期間：
令和8年8月31日まで

共済契約自動車の事故により被共済者が法律上の賠償責任を負った場合に、対人賠償共済金、対物賠償共済金を支払う制度です。自損事故傷害共済、無共済等自動車傷害共済、限定搭乗者傷害共済、他車運転特約(自動二輪車・原動機付自転車を除く)、臨時費用の制度が自動付帯されています。

いつでも
申し込み可能

組合員のニーズに合った選択ができるよう以下のとおりA型とB型の2類型となっています。

■ A 型 掛金(年額)3万円で最高

[自家用普通・小型乗用車]

- 対 人 賠 償 ——— 無制限の補償
対人賠償共済(1名につき)
- 対 物 賠 償 ——— 1000万円の補償
対物賠償共済(1事故につき)
- 自損事故傷害 ——— 1500万円の補償
自損事故傷害共済(1名につき)
- 限定搭乗者傷害 ——— 500万円の補償
限定搭乗者傷害共済(1名につき)

■ B 型 掛金(年額)3万3000円で最高

[自家用普通・小型乗用車]

- 対 人 賠 償 ——— 無制限の補償
対人賠償共済(1名につき)
- 対 物 賠 償 ——— 無制限の補償
対物賠償共済(1事故につき)
- 自損事故傷害 ——— 1500万円の補償
自損事故傷害共済(1名につき)
- 限定搭乗者傷害 ——— 1000万円の補償
限定搭乗者傷害共済(1名につき)

車両共済(保険)のご案内 (一般自動車保険の車両保険)

この車両共済(保険)は、町村生協の自動車共済で補償する対人賠償、対物賠償、限定搭乗者傷害等に加え「ご自身のおクルマの補償(車両保険)」を追加する制度です。
お車が衝突した場合や台風・いたずら・盗難など偶然な事故で損害を被ったときに、共済(保険)金をお支払いします。

町村生協の自動車共済にご加入の皆さまなら!

●無事故による割引で新規から **44%(保険料)割引**

・ご加入を希望するお車が町村生協の自動車共済で過去3年
無事故の場合は、ノンフリート等級9等級からスタートします。

●集団扱年一括払による割引でさらに **5%割引**

保険料分割払(12回)も選択可能です。
・保険料分割払をご利用の場合は上記の集団扱年一括払の5%割引の適用はありません。

このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容については
取扱代理店(千里)までお問い合わせください。

※この車両共済(保険)をご契約いただける方は、全国町村職員
生活協同組合の自動車共済に加入されている方に限ります。

●お見積りのご請求・お申込み・お問い合わせなどは、下記までご連絡ください●

株式会社 千里(取扱代理店)

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内

●ホームページアドレス <https://www.chisato-ag.co.jp/>

お電話の際には、車検証をお手元にご用意ください

(受付時間：祝日、年末年始を除く月～金 午前9時30分～午後5時)

TEL

0120-731-087

FAX

03-3519-7325

- 「車両共済(保険)制度」は、全国町村職員生活協同組合と損害保険ジャパン株式会社とが集団扱契約を締結し、実施しているものです。
- 集団扱としてご契約いただけるのは、保険契約者および被保険者が損保ジャパンの定める条件を満たす場合のみとなります。

詳細については、取扱代理店(千里)までお問い合わせください。

〈車両保険引受保険会社〉損害保険ジャパン株式会社

元青森県知事

山崎岩男の誕生秘話

こんにちは。外ヶ浜町長の山崎結子です。前回は町の特徴や展望を書いたので、今回は私の曾祖父で元知事の山崎岩男が政治家になるまでを書きたいと思います。



昭和天皇皇后両陛下をご案内する山崎岩男（左）

まず岩男の父は、実は高橋という姓でした。婿でもないのに高橋と名乗らなかつたのは徴兵を免れるためで、母の私生児として育ったそうです。（八戸に残る代々の墓は高橋家と書いてあります。）

高橋家は非常に貧しく、北

海道へニシン漁の出稼ぎに行き、そこで木造（現つがる市）から来た山崎さんと結婚し、末子として岩男が誕生します。

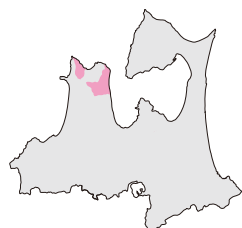
難産の中「五体満足で生まれたら必ず仏門に入れます」と祈って無事生まれたこともあり、10歳頃本当に八戸の大慈寺に預けられます。

学生時代は体力があり成績もよく、旧制八戸高校では級長を任され、曹洞宗の僧侶になるべく駒澤大学への進学が決まっていたそうです。

ところが卒業直前、担任が天皇陛下をけなす発言をしたと学友が日本刀を持って大騒ぎ。岩男は「級長の俺に任せてくれ」となだめ、その教師を教室の窓から突き落としま

す。切るよりマシと思ったのでしようが、この行動で放校処分、大学推薦は取消し。大慈寺からも追い出され、将来の道が閉ざされたかのように思われました。

しかし、この時助けてくれ



外ヶ浜町長

やまざき
山崎
ゆいこ
結子



津軽半島最北端「龍飛岬」を有する町。龍飛岬の眼下には世界最長の海底トンネル「青函トンネル」が走り、激流・津軽海峡や北海道までを一望できる。太宰治、大町桂月、棟方志功など数多くの著名人が訪れ、愛したこの岬は、大自然の厳しさと優しさを体感できるパワースポットでもあり、人々を惹きつける魅力があふれています。



龍飛崎帯島と竜飛弁天宮

たのが、同郷の松岡正男氏時事新報社社長・羽仁もと子の兄）でした。学費を工面し、居候先も探してくれて、中央大学予科に通うことになりました。（高卒でなくても、点数が足りれば入学できたのが中大だったそうです。）

そうして上京し、大学に通う書生・岩男のもとに、継母と折り合いの悪かった八戸高女在学中の大岡イマが押しかけます。居候中なのに同棲に結婚、なんと祖父の竜男が産まれます。（追い出さず置いてくれた居候先に感謝です。）

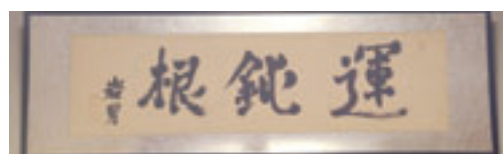
なお、岩男は学生時代に箱根駅伝で活躍し、第2回から7回大会で計4回出場しました。中大が初優勝した時の走者だったことは、岩男生涯の自慢でした。

大学卒業後は青森商業高校で英語と民法を教えていたのですが、ある時世話になった人の選挙応援のため、教員（県職員）を辞め、無職になってしまします。

その時大湊（現むつ市）の助役に請われ、そこで町長となり、政治家の人生が始まりました。その後、県議や代議士を経て知事になるまではWikipediaのとおりです。

ちなみに外ヶ浜龍飛には、岩男が必勝祈願をした龍神（弁天）様がありますが、彼が信仰したという神社仏閣や景勝地の揮毫が県内の各地に多く存在します。

我が家にも岩男が書いた「運鈍根」という書があるのですが、「愚直に正直に、感謝を持って行動する人には神仏のご加護があるし、助けてくれる人が現れる。ひたむきに頑張るべし」という意味だと私は解釈しています。



山崎岩男書「運鈍根」